

## 平成30年度 自己評価結果

自己評価とは、勤務する職員（保育士）が日々の保育を振り返り、各評価項目の達成度を自分で評価するものです。

その評価をもとに、各保育士は次の目標を定め、達成するための具体策を講じます。

評価は全100項目をチェックし

十分できている	3点	} で評価します。
できている	2点	
ふつう	1点	
努力が必要	0点	

### 自己評価の集計結果（保育士9名分）

	評価の分布				職員平均 3点満点
	十分できている 3点	できている 2点	ふつう 1点	努力が必要 0点	
園の基本姿勢について (5項目)	6	35	4	0	2.0
保育・擁護の原則 (37項目)	23	190	112	7	1.7
保育の内容 (33項目)	23	166	102	6	1.7
健康及び安全 (13項目)	5	66	41	5	1.6
子育て支援 (4項目)	1	24	11	0	1.7
職員の資質向上 (6項目)	6	31	16	1	1.8
園独自の取り組み (2項目)	9	9	0	0	2.5

上記の結果を踏まえ、各職員それぞれには自己の評価が低い項目をどのように強化するか、また、もっと伸ばしたい項目はどのような対応するかなど、次の課題として取り組んでいきます。

園全体としては、一番点数の低い「健康及び安全」の分野を中心に強化を図っていきます。